

なしの胴枯病の治療

トップジンMペースト
茨城園試

なしの輪紋病のいば病斑からの孢子飛散防止

果樹の枝幹性病害の 予防と治療に!

幹や枝の傷口・切り口のゆ合促進に!!

トップジンMペースト®

●成分：チオファネートメチル.....3.0%

●適用病害と使用方法 *印は収穫物への残留回避のため、本剤及びチオファネートメチルを含む農薬の、総使用回数制限を示します。



作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	総使用回数*		使用方法
				本剤	チオファネートメチル	
りんご	腐らん病、輪紋病	原液	剪定時 及び 病患部削り取り直後	10回	塗布は3回 灌注は1回 散布は6回	塗布
	切り口及び 傷口のゆ合促進		剪定整枝時、病患部削り 取り直後、及び 病枝切除後			
なし	胴枯病、輪紋病、黒斑病 腐らん病、紅粒がんしゅ病 幹腐病、切り口の枯込防止	原液	剪定整枝時 及び 病患部削り取り直後	11回	塗布は3回、灌注は1回 休眠期の散布は1回 生育期の散布は6回	
			剪定整枝時			
かんきつ	切り口及び 傷口のゆ合促進	原液	剪定整枝時、 病患部削り取り直後、 及び 病枝切除後	8回	塗布は3回 散布・空中散布・ 無人ヘリ散布は合計5回	
キウイフルーツ			8回	塗布は3回、散布は5回		
もも	切り口の枯込防止	原液	剪定整枝時	10回	塗布は3回 休眠期の散布は1回 生育期の散布は6回	
かき			病患部削り取り直後			
くり	胴枯病	原液	剪定整枝時 病患部削り取り直後	3回		
かりん、マルメロ	切り口及び 傷口のゆ合促進	原液	剪定整枝時、 病患部削り取り直後、 及び 病枝切除後	9回	塗布は3回、散布は6回	
おうとう				6回	塗布は3回、散布は3回	
いちじく				14回	塗布は3回 灌注は6回、散布は5回	
				すももは6回 塗布は3回、休眠期の散布は1回 生育期の散布は3回 その他の小粒核果類は6回 塗布は3回、散布は3回		
小粒核果類			7回	塗布は3回 灌注は1回、散布は3回		
びわ	晩腐病	3倍	休眠期(萌芽前)	6回	塗布は3回、散布は3回	
ぶどう	切り口及び 傷口のゆ合促進	原液	剪定整枝時、 病患部削り取り直後、 及び 病枝切除後	5回	塗布は3回、散布は2回	
オリーブ				3回		
果樹類 (もも、りんご、なし、かき、 マルメロ、かりん、いち じく、かんきつ、おうと う、小粒核果類、びわ、 キウイフルーツ、ぶどう、 くり、オリーブを除く)				1回	5回	
樹木類	つる枯病	原液	発病初期	5回	種子への処理は1回 は種後は5回	
きゅうり、すいか まくわうり			発病初期 ただし収穫21日前まで	1回		5回
潰物用すいか			剪定整枝時 及び 病患部削り取り直後 病枝切除後	5回	5回	
メロン	腐らん病		剪定整枝時 及び 病患部削り取り直後 病枝切除後	5回	5回	
さくら	てんぐ栗病		剪定整枝時 及び 病患部削り取り直後 病枝切除後	5回	5回	
ぶな(伐倒木)	クワイカビ類による木材腐朽		伐倒直後	1回		木口に塗布

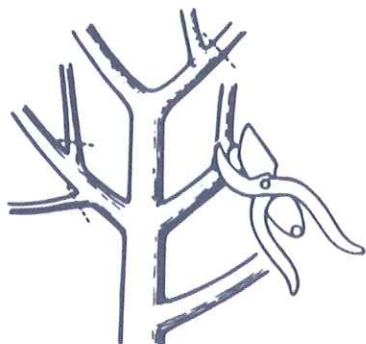


日本曹達株式会社

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
 ☎(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084
 ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>
 大阪支店 ☎(06)6229-7343 東京営業所 ☎(03)3279-6961
 札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003
 仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336
 信越営業所 ☎(0255)81-2323 松山営業所 ☎(089)931-7315

トップジンMペーストの使い方

○剪定・整枝後の処理

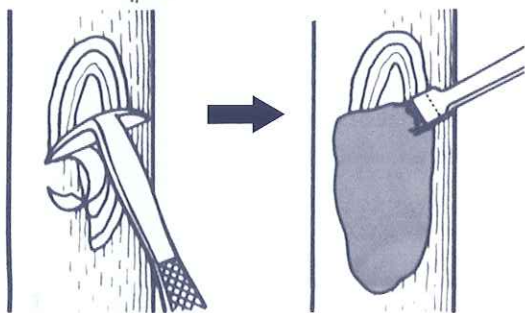


切り口にトップジンMペーストをつける

ハケでていねいに広げる

○胴枯れ・枝枯れの病患部の処理

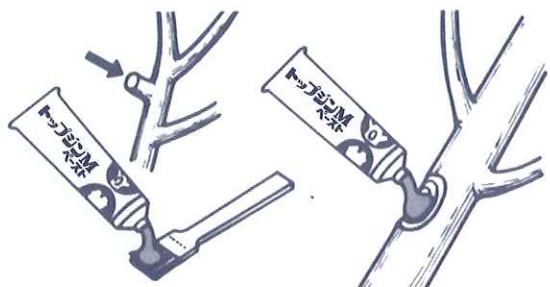
病患部が大きいとき



大型ナイフで、病患部を大きめに完全に削り取る

削り取ったあとよりも大きめに、ペーストを充分ハケでぬる

病患部が小さいとき



細い枝や、病患部が下側で処理しにくい場合、ハケにペーストを適量つけてぬる

削りとりあとにペーストを適量つけてからハケでよく広げる

●上図は中栓をはずした使用例です。この場合、薬量が多くなりますので手や衣服を汚さないように注意してください。また、中栓をつけたままでは薬量は少なく出ます。

トップジンMペーストの特長

1. 殺菌力が強く、浸透性の高いチオファネートメチルを配合した殺菌塗布剤です。
2. 本剤を塗布すると、耐雨性の安定した殺菌保護被膜が速やかにでき、病害の感染を長期間防ぎます。
3. 病患部を削り取ったあとの傷口、剪定・整枝・環状はく皮時の切り口などに塗布すると、木質部の亀裂、雨水や雑菌の侵入を防ぎ、新しいカルス（ゆ合組織）の形成を促進します。
4. 日やけ・凍害・つる直しなどによる傷口に予防的に塗布すると、病原菌の侵入を防ぐことができます。
5. 使いやすい粘性液状剤です。

トップジンMペースト 使用上の注意事項

⚠ 効果・薬害等の注意

1. 1 kgは使用直前によく攪拌し、刷毛等の適切な用具を用い、塗布してください。また、200 gの場合、原液をチューブから直接または刷毛等で塗布してください。
2. りんごの腐らん病では、病斑を見つけ次第、病患部を大きめに完全に削り取り、その傷あと及びその周辺に十分に塗布してください。また、剪定整枝時や環状はく皮などによる切り口に予防的に塗布してください。
3. なしの胴枯病・紅粒がんしゅ病・輪紋病、きりの腐らん病では、病斑を見つけ次第、病患部を大きめに完全に削り取り、その傷あと及びその周辺に十分に塗布してください。
4. ぶどうに対し、萌芽後に使用すると生育遅延を生ずるおそれがありますので、必ず萌芽前に使用してください。
5. ぶどうの晩腐病に使用する場合は、結果母枝を主体に塗布してください。
6. うり類に使用する場合は、主茎の基部（地ぎわから10～20 cm）や病患部に1週間間隔で2～3回塗布してください。この場合、病患部をあらかじめ削り取ってから塗布すると一層効果的です。
7. さくらてんぐ巣病では、病巣の発生している枝を健全部で切除し、その切り口に十分に塗布してください。
8. ぶな丸太の防菌では、伐倒後直ちに（24時間以内）木口に十分に塗布してください。なお、本剤による防菌効果は2カ月後までであり、それ以後の効果は期待できません。
9. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
10. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
11. 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

1. 本剤は眼に対して弱い刺激性がありますので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
2. 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
3. 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
4. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
5. 街路・公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に、小児や、使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう、縄囲いや、立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
6. 使用後の刷毛等の用具はそのまま放置せず、水でよく洗っておいってください。

保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

●包装：1 kg×12缶、(200 g×10本)×5箱

(本資料は、2010年7月現在の登録内容に基づいています。)

本剤を使用するときは

- ①使用前にはラベルをよく読んでください。
- ②ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。